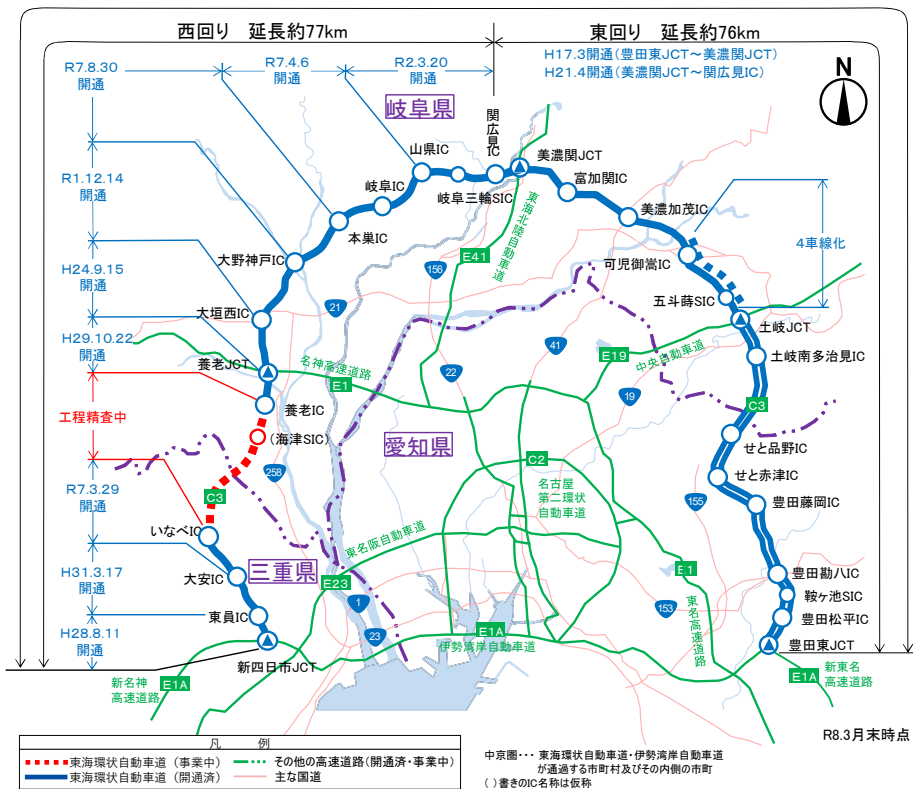


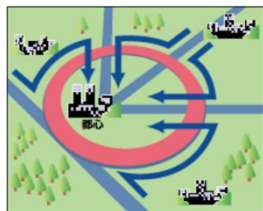
## 東海環状自動車道の進捗状況

- 国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る延長約153kmの高規格道路です。
- 中京圏の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果を発揮します。
- 道路の整備により、企業立地等の沿線開発が中長期に進む等、**ストック効果は子孫に引き継がれていきます。**

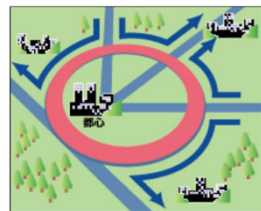


## 環状道路の機能

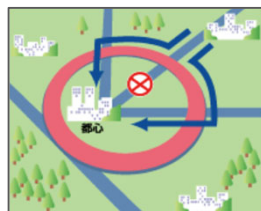
### ■分散導入機能



### ■バイパス機能



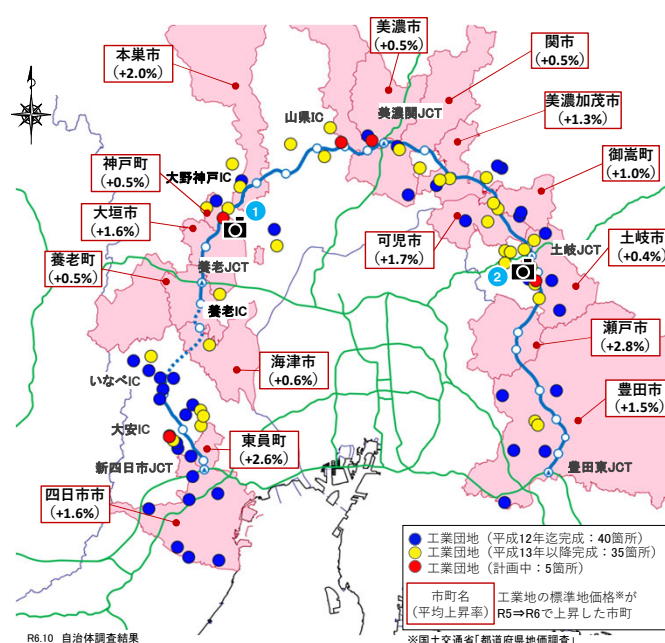
### ■非常時の迂回機能



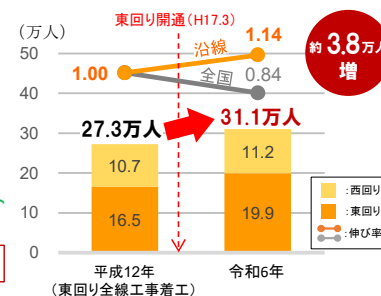
## ストック効果（整備効果）工業団地が整備される等、民間需要が誘発

- 【効果】 ○東海環状自動車道沿線には多くの企業が立地。工業団地数は平成12年（東回り全線着工）からの24年間で**倍増（40箇所→80箇所）**。
- 東海環状自動車道（東回り）全線工事着事後、**約3.8万人の雇用が創出され、製造品出荷額等が約15.8兆円増加しました。**
- 【期待】 ○東海環状自動車道（西回り）沿線では、既存工業団地に加え、開通を見据えた更なる企業の進出が期待されています。

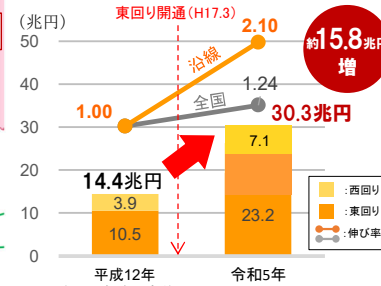
### ■東海環状自動車道の工業団地と基準値価格（工業地）が上昇した市町



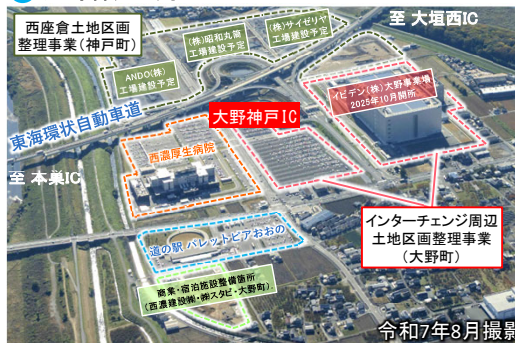
### ■沿線市町<sup>※1</sup>の製造業従業者数の推移



### ■沿線市町<sup>※1</sup>の製造品出荷額の推移



### 1 大野神戸IC周辺



### 2 五斗蒔スマートIC周辺

